



社会福祉

法人

豊中市社会福祉協議会

第57号 2013年(平成25年)3月31日

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15

TEL (6848) 1000 FAX (6848) 1005

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>

E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアセンターだより

ボランティアグループ
あれこれ

青少年ボランティアグループ

「つぼみ」編

市社協登録ボランティアグループ「つぼみ」は青少年ボランティアグループとして、高校生から既婚者まで幅広い年齢層で、主に土・日・祝日に活動しています。

活動内容は、個別依頼による高齢者、障害児・者の外出介助、施設行事のお手伝いをしています。一昨年は和歌山県台風 12 号の災害支援ボランティアなどにも協力し、多岐にわたる分野にて活動に取り組んでいるグループです。

月 1 回定例会を開催しており、ボランティアに関する情報共有をおこなったり、メンバー間のコミュニケーションの場ともなっています。

このたびは「平成 24 年度ボランティア功労者厚生労働大臣感謝状」を受賞しました。今後も青少年のボランティア活動の促進と社会貢献のために、様々なボランティア活動に寄与していきたいと思ひます。



高齢者施設でのお手伝い



ボランティア功労者厚生労働大臣感謝状
贈呈式(豊中市長より贈呈)



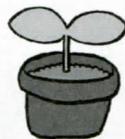
ボランティアフェスティバルにてバル
ーンアート体験コーナーの協力

◎活動に興味のある方は・・・

☆定例会

日時: 第3木曜日 19時00分～

場所: ボランティアセンター「ぷらっと」



☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぷらっと」

豊中市岡上の町2-1-15(豊中市すこやかプラザ2階)

☎ 06-6848-1000





ボランティア団体連絡会
設立20周年記念

第20回 豊中ボランティアフェスティバル

11月18日(日)、豊中市すこやかプラザにて、ボランティアフェスティバルを開催し、約320名の方が来場されました。ボランティア団体連絡会の設立20周年を記念しての講演やボランティアのリニューアルなどで会場がにぎわいました。



オープニング NEWボランティア誕生!



記念フェスティバルにふさわしく、大阪音楽大学の学生による弦楽4重奏の格調高い音楽で始まりました。



豊中のボランティアイメージキャラクター“ボランティアちゃん”が新しい着ぐるみにリニューアル!!
これまでのボランティアちゃん、お疲れさまでした!

記念講演



豊中在住の人気ラジオパーソナリティー 馬場章夫(ばんばふみお)さんによる『世界一寒い村を訪ねて』の映像と体験談に会場は釘づけとなりました。

「何しろ面白い!自分では体験できない世界を見せて話してもらいました。」

(参加者の声)

ステージ発表



8つのグループによる個性あふれるステージ発表がありました。

「着物を再生した衣装を披露し、拍手をいただき、嬉しかったです。努力した結果を評価してもらい、活動の励みになります。」(ファッションショー参加グループ)



読みきかせ「酒吞童子」



お見事!マジックショー

声高らかに
民謡の披露



みんなできいきき歌体操



ボランティアちゃんの
歌を手話で披露



点字体験



バルーンアート体験



ホームページ製作体験



リフト付き自動車試乗体験

ボランティア 体験コーナー

各体験ブースでは、参加者が、専門のボランティアグループの指導を受けながら、楽しく体験をしていました。



高齢者疑似体験

寒さと強風にも負けず、30人以上の方が体験されました。ほとんどが初めての体験でした！



障害者の手作り品の販売コーナー

若い方が多く体験され、「介護するときはどうすればよいか分かりました」との嬉しい感想をいただきました。

ボランティア カフェ



2階では、今や恒例となった憩いの場、ボランティアカフェがオープンし、5つのボランティアグループが交代で香り高いコーヒーを提供してくださいました。

『コーヒーとお菓子を真ん中に、参加者の会話がはずみ、交流が広がるお手伝いができました。』（カフェ協カグループ）



香り高いコーヒーで
ホッとひととき

Vネットヒューマンバザー同日開催



Vフェス当日は、同じすこやかプラザ2階デッキ広場にて「企業・団体ボランティアネットワークとよなか」（Vネットとよなか）によるバザーも開催され、そちらもたくさんの来場者でにぎわいました。

市社協災害支援訓練&講演会

H25. 1. 19 (土)



多数のボランティアのご協力をいただきました。

午前7時に豊中市全域で震度6強の地震が発生したという想定で災害支援訓練を実施。60人を超えるボランティアにご参加いただき、設置した災害ボランティアセンターを中心に、ニーズ聞き取りによるボランティアの需給調整、非常食の調理、テント設営、安否確認、情報発信、防災用品の確認などのシミュレーションを行いました。



はじめて見る防災用品も数多くありました。



講演会「3.11 東日本大震災…そのときボランティアはどう動いたのか！」～岩手県大槌町ボランティアセンターの現場から～



訓練に続いての講演会では、震災による壊滅的被害を受けた岩手県大槌町社会福祉協議会に、震災直後から派遣され、活動をされていた岩手県社会福祉協議会職員の和山 亨さんを講師としてお招きし、当時のボランティアと地元住民とのかかわりなど、映像を交えながらお話しいただきました。

約140人の参加者に対して、「地域の事情に寄りそった支援の大切さ」を温かく穏やかに訴えられ、多くの参加者の心にとどきました。

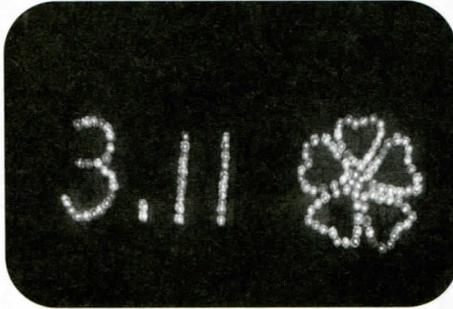
- ・地元のボランティア運営次第で外部ボランティアがスムーズに動けるとい話にととても納得。
- ・復旧、復興の段階ごとにニーズが変化していくことがよくわかった。
- ・現地に行くだけがボランティアではなく、バザーを開催し、送金することも立派なボランティアであるときき、ホッとした。
- ・いかに被災者に寄りそった活動ができるか、地元の流儀、価値観でやることの大切さがよくわかった。

(参加者アンケートより抜粋)



東日本大震災復興支援活動あれこれ

3月3日(日)、千里セルシー広場にて開催された消防災展に市社協も参加し、東北支援物産展、市社協災害支援ネットワークの協力で街頭募金を実施しました。



大震災から2年にあたる3月11日(月)、すこやかプラザにてろうそくを灯し、震災犠牲者の方に祈りを捧げるとともに今後の継続した支援を誓いました。当日は豊中駅にて街頭募金も実施し、被災地に心を寄せる一日となりました。

市民の方から温かい気持ちが寄せられました。



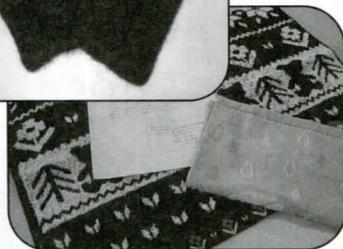
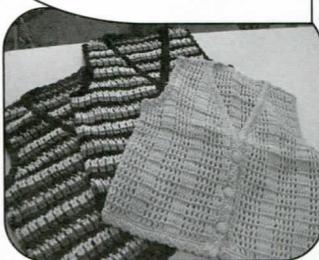
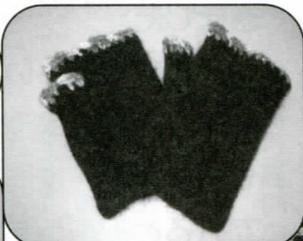
3月16日(土)、豊中市出身の村井嘉浩宮城県知事による講演会「震災から2年・・・被災地の今」が開催され、約300人が参加しました。村井知事は東日本大震災の被害実態や現状、復興への道のりを映像を使って詳しく説明され、「被災地を忘れないで、東日本へ遊びに来てください」と話されました。当日、集まった募金は宮城県への支援金として送金いたします。

各地の被災者にプレゼントを贈りました

ますます寒さが厳しくなることが予想される年末に、身も心も温まるプレゼントとして市社協登録Vグループ「小さな手」手作りの手袋と府社協から寄贈された手編みベストを岩手県釜石市の仮設住宅にお住まいの方々に送りました。とかく気持ちが沈み、ひきこもりがちになる方も多い中、遠く離れた豊中からも応援していることを伝えました。

また、被災して豊中に住まれている方々(11世帯)には新年用にタオルセットをお届けしました。

「小さな手」の手袋は指先があいていて好評でした。



東日本大震災支援金募金のお礼

市社協では支援金お預かりと募金箱の設置を引き続き行っております。

H24. 4月→	44,630円
5月→	2,501円
6月→	4,850円
7月→	10,876円
8月→	21,436円
9月→	514円
10月→	9,807円
11月→	29,217円
12月→	73,959円
H25. 1月→	2,833円
2月→	2,915円
3月→	184,677円
合計	⇒388,215円

(3/20 現在)

全額、中央共同募金会へ送金しております。

ありがとうございました。

心のボランティア講座

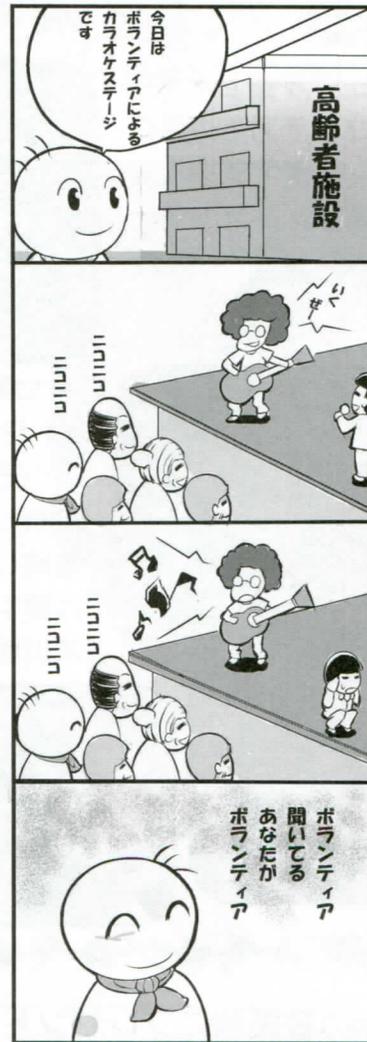
市社協では、精神障害者への理解を深めるために、平成17年から標記の講座を開催しています。平成24年度は11月12日・19日の2日間に渡り開催しました。

講演会と併せて、障害によって働く事が困難な方のための日中活動をサポートする福祉施設「地域活動支援センター」の見学会も後日行われました。豊中市内には2施設あり、こちらも2日に分けて見学会を開催しました。



☆「ちょボラサロンえがお」
精神障害者の社会参加のステップ、地域交流の場、ボランティア活動を実践していく場として、毎月1回第4月曜日に様々なボランティア活動を行っています。

ボランティアってなあに



この漫画はびーのびーのプロジェクトメンバーの作品です。

ステップアップ講座 (株)かんでんエルハート見学記

平成25年2月14日に大阪市住之江区にある、(株)かんでんエルハートを見学しました。これは「企業・団体ボランティアネットワークとよなか」と合同で実施したもので、当日は合計19名の参加がありました。

現地ではパワーポイントにより、第三セクター方式で関西電力株の特例子会社であることや、大阪府・大阪市の就労支援があるといった会社情報や事業拠点、障害者雇用率・要員数及び売上高の推移の説明の後、社会的な障害者数や障害者雇用数と実雇用率の推移などについてもご説明いただき、オリジナルの会社紹介DVDを鑑賞したあと、実際の勤務について、印刷や贈答品包装、園芸業務等について各セクションをご案内いただき、社員の方との交流を持ちました。

参加者からは、「大企業の障害者雇用の取り組みがよく理解できた。」といった声や、「職員採用について、職業安定所などでも情報が得られるのか？」といった具体的な質問もあがり、参加者の関心の高さがうかがえました。また、「大変参考になった。またこのような企画を実施してほしい。」と、次回開催への期待の声もいただきました。

まだまだ厳しい社会状況にありますが、継続したこのよう企業姿勢がノーマライゼーションを推進する取り組みに繋がっていると実感しました。



園芸業務の説明に熱心に聞き入る参加者のみなさん

ボランティア施設訪問記

「神港園しあわせの家」を訪ねて

秋晴れに恵まれた10月25日、私たちは神戸市北区にある「神港園しあわせの家」を見学させていただきました。

特別養護老人ホームや介護老人福祉施設などが北区、西区、須磨区、垂水区に点在している高齢者福祉総合施設「神港園」の一つである「神港園しあ



和気あいあいのメンバー

わせの家」は、認知症専門の日本でも少ない施設の一つで、多くの方々が穏やかに過ごしていらっしゃいました。

移動の際に通る長いスロープや皆で楽しめるフリースペース、介護度に応じて和風、洋風に作られたフロアが印象的で、樹木や季節の花々が咲く外部は広く開放的で爽やかな気分させてくれました。

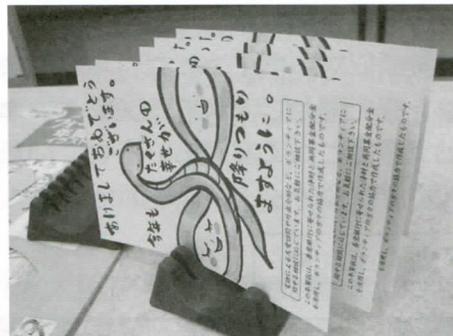
市社協に利用申込みされている方と、火曜日に電話でお話しさせていただく「聴くの会」では、日ごろの活動の他に年に1～2回、このような施設見学も行っています。(聴くの会 M. F)

年賀状ボランティア

今年も豊中市にお住まいのおひとり暮らしの高齢者の皆様へ年賀状を作成し送付する年賀状ボランティアを開催しました。11月～12月にかけて6日間の日程で開催し、今年は豊中市にひとり暮らし登録をしている70歳以上の高齢者、5,671名に送付させていただきました。

お送りした年賀状のお礼のお返事もたくさんいただきました。

今回ご協力いただきましたボランティアの皆様、ありがとうございました。



ボランティア手作りの年賀状



登録V新年の集い

登録しているボランティアグループと、個人で活動をされている方との「新年の集い」が、去る1月29日に福祉会館で開催されました。各グループからそれぞれの紹介の後、事務局からは出しものとしてお年玉クイズがあり、景品をもらった方もいらっしゃいました。また、歌体操の披露があり、有志の方からハーモニカ、フルート、ギターなど楽器演奏、江戸芸かっぽれ踊り、日本舞踊などさまざまな出しものが披露され、会は大いに盛り上がりました。最後に、参加者全員で歌を合唱、和気あいあいの雰囲気の中、ボランティア同士が交流のひとつときを共有しました。(そよかぜ K. O)



「とよなか地域ささえ愛ポイント事業」がはじまりました

「とよなか地域ささえ愛ポイント事業」とは？

活動希望者が、何らかの支援が必要な高齢者に関わる社会貢献活動（ボランティア活動）を行うことで、ボランティアの楽しさを知ってもらい、自身の健康づくり、高齢者に対する学び、また地域の福祉施設・福祉活動への理解を深めてもらうための事業で、活動実績に対してポイントが付与され、ポイント数に基づき、活動支援金を支払われます。

◆対象◆

満65歳以上の市民（介護保険第1号被保険者）

◆地域ささえ愛ポイント対象活動◆

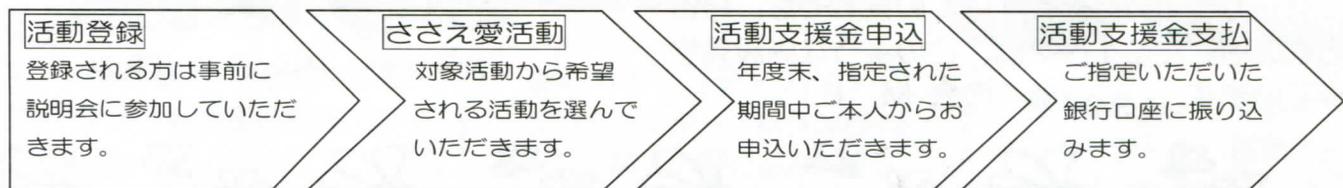
- ①豊中市内の介護保険施設等での高齢者支援活動
- ②豊中市社会福祉協議会 小地域福祉ネットワーク活動の高齢者支援活動 及び ボランティアセンターの高齢者支援活動
- ③この事業に伴い実施する研修会等

◆ポイントについて◆

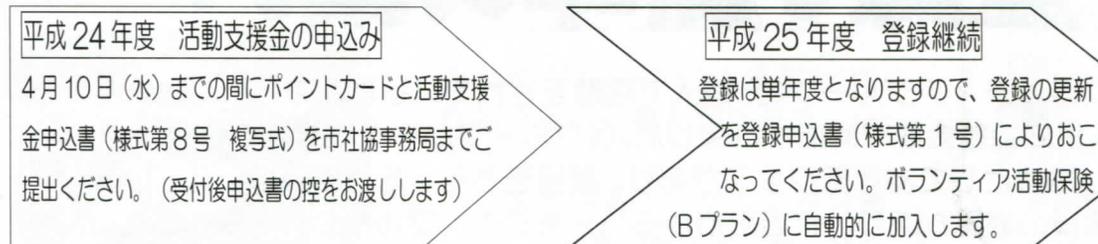
活動実績に対しポイントが付与されます。1回1時間程度の活動に対して、100ポイント、1日200ポイントを上限とし、年間5000ポイントを上限に、1000ポイント単位で活動年度にたまったポイントを活動支援金としてお支払いさせていただきます。

（1000ポイント＝1000円）

◆活動の流れ◆



◆平成24年度活動支援金の申込み 及び平成25年度の登録継続について◆



～ボランティア活動総合保障制度のご案内～

安心してボランティア活動や地域活動に取り組んでいただくために、ボランティア活動総合保障があり、ボランティアセンターが窓口になっています。

- ◆ボランティア活動保険（ボランティア活動中の保障）
⇒ボランティア活動を行う団体対象
 - ◆ボランティア市民活動・市民活動行事保険（行事活動中の保障）
⇒スポーツ活動や子供会活動など、各種市民活動を行う団体対象
- ※詳しくはお問い合わせ下さい

編集後記

桜が満開です。あなたの心にも花が咲いていますか。日々の活動時、心の花をそっと手渡す感じを心がけています。今、盛りの桜、野に咲くスミシ、どんな花を咲かせましょうか。（ステッキ）